

山本 皇之祐 先生 2020年3月修了

出身大学 奈良県立医科大学
修了後の進路 奈良県立医科大学
産婦人科

研修プログラムについて教えてください。

必須科目も含め、自由度の高いプログラムです。僕は産婦人科を志望していましたが、まずは内科疾患をしっかり頭に入れたいと思い、はじめの3ヶ月間と、他科を1ヶ月挟み、さらに3ヶ月間の内科研修を行いました。熱意溢れる指導医の先生方が、それぞれの専門分野を軸に総合診療的に指導して下さるので、様々な疾患に対し、どうアプローチしていくのかという流れを自然と学ぶことができます。

具体的な研修内容を教えてください。

内科では、胃カメラやポリペクトミー、ERCP、エコーなど様々な検査治療に立ち会います。胃カメラが学びたい、エコーをもっと学びたいと思えば、十分に学ぶ時間を確保できます。強制的でも、受動的でもなく、自分の学びたい分野を躊躇せず、能動的にとことん学べるのは、この病院の研修の良いところで、とても満足しています。

大和高田市立病院ならではのことはありますか。

様々な講演会、研修会がありますが、面倒くさがるの僕でも行って後悔することはありません。医師だけでなく、様々なジャンルの方の話を聞くことで、狭くなりがちな視野を広げることができます。また、技師や看護師の方々がやさしく、学びたいという思いに対して、しっかりと応えてくださいます。学びが多く、アットホームな雰囲気で働けるのは、とても大事なことだと思います。

研修先を選ぶ際のアドバイスをお願いします。

少人数で市中病院というのは、決して悪いことではありません。最先端の設備でないと治療が難しい症例では、確かに他病院に搬送しますが、この病院で学ぶ機会が足りないという思いは僕にはありません。ふらつき、目眩から癌まで、幅広いCommon diseaseに対して満足のいく研修ができます。どんどんチャレンジしたいという人にとっても、自分のペースでゆっくりじっくり研修したいという人にとっても、納得のいく研修ができると思います。

井之口 陽平 先生 2021年3月修了

出身大学 奈良県立医科大学
修了後の進路 大阪大学大学院医学系研究科
泌尿器科

研修先を当院に決めた理由を教えてください。

泌尿器科への実習で訪れ、同じ出身大学のDr. や研修医がいて、話を聞くなかで当院に興味を持ちました。また、研修医が多い大学病院などでは、主体的に参加しづらいなどの話を聞いたこともあり、こちらを選ばせていただきました。

当院の特徴・自慢を教えてください。

内科の先生がcommonな疾患を診療科の枠を飛び越えて可能な限り診療していることと、奈良県立医科大学付属病院が近くにあるがある程度手術の症例を見れることです。将来希望する科が当院にあるのであれば、研修先にはおすすめします。

研修のプログラムについて教えてください。

大きな病院と比べて、研修医の人数が少ないことで積極的にチャレンジできる機会が多く、丁寧な指導をしていただけていると思います。外来診療や回診をそばで見ていることもできれば、症例ベースで自分の興味がある手術を見させていただくこともでき、個人に合わせて柔軟に対応してまいります。

後輩たちへのアドバイスをお願いします。

将来的に希望する診療科があり、見ているより体を動かして学びたいような人には当院はおすすめですし、これから診療科を決めたいのであれば多彩な診療科がある病院を選ぶと良いと思います。また、病院によってプログラムは大きく異なるので、制度をうまく使って最大限の学びが得られるようじっくり考えてください。

岩本 裕 先生 2021年3月修了

出身大学 奈良県立医科大学
修了後の進路 奈良県立医科大学
精神医学講座

研修先を当院に決めた理由を教えてください。

私が研修先に当院を選んだ理由は、commonな病気を多く見れること・比較的少人数でまとまりのある病院だからです。また当院は隣町出身である私には昔から馴染みがあり、出身大学の奈良医大から近いということもプラスになりました。

当院の特徴・自慢を教えてください。

市中病院でありcommonな病気を中心にみることができます。320床規模の病院であり、医局が一か所にまとまっています。研修医も医局に机があり、1年目から多くの科の先生と面識を得ることができます。将来考えている科の先生に積極的に話を聞くことも可能です。

研修のプログラムについて教えてください。

研修医の人数が少ないため、先輩Dr.のみならず看護師さん、技師さんやPTさんなどにも認知していただき、自ら指導を仰ぐことや助言をもらうことができます。また、奈良県立医科大学附属病院で希望する診療科へ4ヶ月間研修に行くことができるので、当院になかったり、入局を考えていたりする診療科をまわることができます。

ワークライフバランスについて教えてください。

診療科によって拘束時間は変わりますが、比較的どの診療科も自由な時間が多いと思います。プライベートを大切にしても良いですし、手技を習い、知識を吸収し自己研鑽に励むことも良いでしょう。自分に合わせた研修生活を送れています。

南部 優志 先生 2年次

奈良県立医科大学 卒
2020年医師免許取得

研修先を当院に決めた理由を教えてください。

研修先を考えているときから、市中病院を志望していました。大学病院では専門的な症例が増えるので、commonな症例を多く見れる点は当院を選んだ理由の1つです。また、最初の3ヶ月間をマンツーマンで内科の研修ができるプログラムが私の性格とマッチしていると思いました。

研修医としての仕事はいかがでしょうか。

働き始めて2ヶ月くらいは病院のシステムを覚えてカルテを扱うことや新しい環境に慣れることが大変でした。その中でも手技は難しかったです。試験では明確な答えがありますが、実際にするとすると、複雑で難しいです。学生のうちに練習をもう少ししておけばよかったと思いました。

当直の体制や仕事を教えてください。

指導医の先生と一緒に月4回入っています。最初は見学がメインでしたが、徐々にできることが増えるにつれ、問診を取り、検査のオーダーをして、と任せいただける部分が多くなりました。常に指導医の先生がおられて、サポートしていただけるので安心できます。研修プログラム内でも新しい経験の中から学べることが多いプログラムの1つだと感じています。

国家試験のアドバイスをお願いします。

私は実習の隙間時間を見つけては映像教材を活用して勉強をしていました。コツコツと短い勉強時間でも続けたことが良かったと思います。あとは周りに合わせることも大切だと思います。友人がしている時期であったり、方法であったり、一人で悩むより流れに身を任せることも大事です。頑張ってください。

濱川 健太郎 先生 2年次

和歌山県立医科大学 卒
2020年医師免許取得

研修先を当院に決めた理由を教えてください。

研修医の数が少ないので、年が離れている先生とも距離が近く、丁寧な指導で目をかけてくださる環境が自分に適していると思い、当院を選びました。少人数でアットホームな雰囲気がとても気に入っています。

研修医としての仕事はいかがでしょうか。

学生時代に様々な疾患について勉強してきましたが、当時重要だと聞いた疾患と実臨床で経験した疾患に違いがありました。現場に立つと知らないことがまだまだあり、自分の未熟さを改めて感じました。中でも画像の読影をこれまでする機会が少なかったので、指導医の先生から教わるのがとても多いです。

当院の特徴を教えてください。

やはり、研修医の人数が少ない分指導医の先生はもちろん、ほかの先生やコメディカルの方からも目をかけてくださっていることが強く感じられます。また、研修医の部屋が用意されている研修病院もありますが、当院は医局内に研修医の席が用意されているので、困ったときに先生方に気軽に相談でき、あらゆる面で距離が近いことが特徴です。

研修先を選ぶ際のアドバイスをお願いします。

人気が高い、評判が良い、知名度が高い。このような病院に目が移ってしまいがちだと思います。ですが、所属する病院によって自分が優秀かどうか決まるわけではないので、広い視点を持って、自分に適した病院を探してほしいです。

田所 克仁 先生 1年次

近畿大学医学部 卒
2021年医師免許取得

研修医としての仕事はいかがでしょうか。

診療科によって違いはあると思いますが、どの診療科もある程度自由にさせていただいています。マンツーマンのため、手技などは研修医同士で取り合いになることもありません。研修医含め、医局がワンフロアにまとまっているのに最初は緊張しましたが、指導医の先生にも声を掛けやすいです。また土日・祝日と休みが決まっているので、私生活とのバランスは取りやすいです。

当直業務について教えてください。

最初は分からないことだらけで、すごく緊張しました。内科の当直では、初めは見学が中心で、一月ほど経つと少しずつファーストタッチを任せていただき、徐々に自分で疾患や検査項目について考える余裕もでてきました。当直で驚いたことは、学生時代に学んだ疾患と実臨床で診る疾患に違いがあった点です。問診を行い、鑑別疾患をあげても、CTを取ってみると別の疾患であるということが何度かあり、そのことについても指導医の先生とよく話しました。

奈良県新型コロナワクチン集団接種派遣を振り返って

普段病院で勤務しているときは症状がある患者さんを診ているのですが、ワクチン接種では痛みや主訴がない方々の問診を担当していました。アプローチの違いなどを学ぶことが出来き、良い勉強になりました。世間のワクチンのうわさなどで不安になっておられる方もおられ、その不安を取り除けるよう安心感を与えるような話し方で、正しい情報を伝えるよう心掛けていました。

研修先を選ぶ際のアドバイスをお願いします。

自分がどのような医者を目指しているのかを考え、基準を設ける必要があると思います。私の場合、将来に故郷へ帰ることも考えていたので、専門的な症例が多い大学病院でなく、commonな疾患を学べる市中病院で考えていました。また少人数のほうが、研修医間の関係がギスギスせず、指導医との距離も近いと聞き、そのことも考慮しました。気になった病院は、複数回見学したり、実際働かれている研修医の方へお話を伺うのもいいかもしれません。

土田 諒平 先生 1年次

奈良県立医科大学 卒
2021年医師免許取得

研修先を当院に決めた理由を教えてください。

大和高田市立病院は二次救急医療機関であり、自自主導で救急対応できるという点に魅力を感じました。また、多くの期間を外の病院で研修できる点も魅力的でした。基本としてはこちらの二次救急下で研修を行い、さらに高度な救急医療を経験するために医大に戻ったり、興味のある診療科や専門分野を学ぶために、他の協力病院にいたり出来る体制がいいと思いました。

職場環境について教えてください。

オンオフがはっきりしている職場です。医局では、ワンフロアに研修医を含めた全診療科の医師がおり、机の配置も診療科でかたまらず、診療科間の垣根を越えてつくられています。気が抜けないところもありますが、逆にだらだらと仕事をするのではなく、きちんと日中はオンモードで、やることはやって早めに帰り、次の日に備えるなど、効率的に時間を使うこともできます。

研修医の体験談 ～初めての当直で～

大和高田市立病院で研修を始めて最初の当直、初めてのコールは「CPA来るから。」の一言でした。救急車が到着すると、中には必死に胸骨圧迫を続ける救急隊の方々が。何も分からずあたふたしていると胸骨圧迫を交代するように言われ、無我夢中で胸骨圧迫を続けました。自分の学んだ知識・手技が直接臨床現場で実践される事を実感し、身が引き締められました。

医学生へのメッセージをお願いします。

皆さんの中には、白衣にあこがれ、医学部受験を頑張り、ポリクリも経験してようやく医者になれる！と、研修病院を選ぶことに力が入っている方もおられるかもしれません。しかし、もっと力を抜いてもいいと思います。スーパーローテートの利点を活かし、例えば、将来内科に進みたいと考えているなら、精神科が強い病院に行くなど、3年目以降に内科漬けになるからこそ1・2年目はまったく違う診療科を学んでおいてもいいのではないかと思います。